

あなたの力で教育は変わる。

高い実践的指導力を備えた教員の養成に取り組む、
兵庫教育大学基金へのご寄付をお願いします。



兵庫教育大学基金

HYOGO UNIVERSITY OF TEACHER EDUCATION FUND

兵庫教育大学基金へのご協力のお願い

日頃から、兵庫教育大学の教育研究に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学は、文部科学省から教員養成フラッグシップ大学の指定を受け、中教審「『令和の日本型教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について」への対応や教員免許更新制の廃止に伴う研修制度の創設など、新たな発展の段階に入り、教育研究の益々の発展のため、邁進しているところです。

今回、本学の教育研究活動の更なる充実と活動成果の国内外への発信のため、兵庫教育大学基金の中に新たに複数のプロジェクトを立ち上げました。

皆様におかれましても、本基金の趣旨をご理解いただき、格別のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



兵庫教育大学 学長 加治佐 哲也



お申し込みはウェブサイトから ▶
URL : <https://www.hyogo-u.ac.jp/kikin/>

兵庫教育大学基金プロジェクト

トータルコミュニケーションサポート事業

～すべての学生がより学べる修学環境の創出～



兵庫教育大学において学ぶすべての学生が自身の個性を發揮することができ、より良く学ぶことができる修学環境を創出するために、障害学生支援室で実施している視覚障害・聴覚障害学生等への人的・物的支援における「トータルコミュニケーションサポート事業」をさらに強化・充実させます。

修学支援事業

～経済的理由で修学をあきらめないために～

経済的理由で修学が困難な状況にある学生への支援を行います。意欲のある学生が夢をあきらめないために支援をお願いします。

夢をつなぐ

経済的理由で修学をあきらめないために

ミライの教育創造プロジェクト

ミライの教育創造プロジェクトでは、これまでになかった「学習者中心の授業づくり」「インクルーシブ教育」「STEAM教育」「EdTech活用」などに関する先進的な教職科目の開発・改善、そして学生の先進的な学修環境の整備に基金を生かします。更には、開発した科目を全国に普及させます。



「知の森・アート」事業 ～地域と共にある附属学校づくり～



学校図書館を休業日は地域の子ども等も集う「子ども図書館」とし、SDGsの観点の取入れ、STEAM教育の導入、一人1台端末の活用などを通し、読書活動充実、地域と共にある学校(コミュニティ・スクール)を目指します。

教材文化資料館収蔵資料のデジタルアーカイブ・プロジェクト

～長岡文雄氏関係資料始め教材文化資料館が収蔵する歴史的価値の高い教材文化資料のデジタルアーカイブ/デジタルギャラリーを構築し、国内外に向けて効果的に発信する～

教材文化資料館において、開館以来10年に亘り収集してきた貴重資料や寄贈予定の長岡文雄氏関係資料をデジタル化し、学術情報リポジトリHEARTを軸としたデジタルアーカイブを構築し、国内外に向けて発信します。



ご寄附の方法

以下の兵庫教育大学基金ウェブページから、クレジットカード決済／コンビニ決済／インターネットバンキング決済（Pay-easy）の払込方法により、ご寄附いただけます。
<https://www.hyogo-u.ac.jp/kikin/>



※その他の方法によりご寄附を希望される場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
兵庫教育大学基金事務局（総務企画課総務チーム）
E-mail : gen-kikin@ml.hyogo-u.ac.jp

お申し込みはウェブサイトから ▲
URL : <https://www.hyogo-u.ac.jp/kikin/>

これまでに実施した支援の例

本学独自の修学支援

- | | |
|---------------|--|
| ① 授業料の納付時期の延期 | 前期授業料の納付期限を一律 6 月末まで延期
後期授業料の納付期限を一律 11 月末まで延期 |
| ② 授業料の一部免除 | 家計事情の急変により、経済的に学業を継続することが困難となった学生を対象に、授業料の一部を免除 |
| ③ 授業料の徴収猶予 | 前期授業料の納付期限を最長 8 月下旬まで延長
後期授業料の納付期限を最長 2 月下旬まで延長 |
| ④ PCR 検査費用の補助 | 実習等における PCR 検査の費用を補助 |
| ⑤ タブレット費用の補助 | 経済的困窮学生を対象に、タブレット端末の購入費用の一部（3万円）を補助 |

《学生の声》
「アルバイトをして学費を払い生計を維持している状況で、すごく悩んでいました。支援して頂いたおかげで、状況も少し落ち着き勉強のために毎日頑張っています。ありがとうございました」

食事支援事業 100円弁当の販売

長引くコロナ禍で経済的に不安を感じている学生を少しでも応援したいという「思い」を込めて、「学生にしっかりご飯を食べて元気に過ごしてほしい」、「自粛を余儀なくされている学生の皆さんに、食事を通して旅行気分を味わってほしい」という願いを込めて、“ご当地フェアで旅行気分を味わおう”をテーマに、100円弁当の販売しました。



《学生の声》
「大変助かります。感謝しています」
「いろいろな地域のごはんが食べられるのが楽しい」